第６４回需給調整市場検討小委員会・
第８１回調整力の細分化及び広域調達の
技術的検討に関する作業会　資料１－２

需給調整市場検討小委員会　用語集

赤字：今回追記

NO.	用語	小委員会における整理	備考
1	ΔｋＷ	実需給時点で各時間帯毎に必要な能力をもった電源等を、出力を調整できる状態であらかじめ確保すること。	第２回需給調整市場検討小委員会（資料２）
2	調整力の調達	一般送配電事業者が需給調整市場から、GCまでに、細分化された調整機能ごとにΔｋＷ価格のメリットオーダーに基づき調整力を調達すること。	第18回制度検討作業部会（資料7）（一部修正）
3	調整力の運用	一般送配電事業者が調達した調整力と、GC後の余力として活用できる調整電源等の調整力をメリットオーダーに基づき発動し、需給調整すること。	第18回制度検討作業部会（資料７）（一部修正）
4	需要予測誤差	需要想定値(30分平均値）と需要実績値(30分平均値）の誤差。	第４回調整力等に関する委員会（資料２）
5	再エネ出力予測誤差	発電計画値(30分平均値）と再エネ出力実績値(30分平均値）の誤差。	第７回需給調整市場検討小委員会（資料３）
6	時間内変動	実需要や再エネ出力が変化することにより30分より短い時間において生じる細かな変動	第８回需給調整市場検討小委員会（参考資料）
7	電源脱落	電源が予期せぬトラブルなどで停止すること。	第８回需給調整市場検討小委員会（参考資料）
8	調整係数(応札電源評価)（α）	調整力の調達にあたり、入札価格に対して、調整力として求められる要件に係る評価を反映するために乗じる係数。応札電源の評価＝入札価格×調整係数(応札電源評価)α	第14回制度検討作業部会（資料３） 第14回需給調整市場検討小委員会（資料３）
9	発動回数制約電源	容量市場において発動指令電源と呼称される年間発動回数12回、指令応動3時間、発動後の継続時間3時間をリクワイアメントとしている電源等のこと。（以降、他の審議会等の整理を踏まえて本小委員会においても発動指令電源に用語を統一する。）	第10回需給調整市場検討小委員会（資料２）
10	発動指令電源	容量市場の中で全国一括として確保され、リクワイアメント (年12 回、3時間継続、 3時間前指令)に従って運用されることとなる電源。	第31回制度検討作業部会（資料4）
11	週間調達	調整力の調達にあたり、必要な調整力を前週に1週間分を56ブロック[3時間×56ブロック]に分けて調達すること。2025年度までの一次調整力～三次調整力①が該当。	第７回需給調整市場検討小委員会（資料2）
12	前日調達	調整力の調達にあたり、必要な調整力を前日（スポット市場後）に調達すること。三次調整力②と2026年度以降の一次調整力～三次調整力①・複合商品が該当。	第７回需給調整市場検討小委員会（資料3）
13	不等時性(必要量算定時)	各商品の最大必要量の発生時がずれていること。このことを前提に、複数の機能を持つ調整力は同じ振幅を共用することができるため、同一のリソースで複数商品を確保することで調達量を低減できる可能性がある。	第３回需給調整市場検討小委員会（資料２）
14	複合約定ロジック	商品毎の必要量および不等時性を考慮した必要量を充足させることを前提に、単一商品での入札および複数商品の複合入札の双方を許容し、落札価格が最も安価となるように、それら入札を最適に組み合わせる考え方。	第22回需給調整市場検討小委員会（資料２）
15	複合商品	複合約定ロジックにより落札された商品	第25回需給調整市場検討小委員会（資料４）
16	調整力電源の偏在	全体として必要な調整力の量は充足しているが、単一エリアでは必要な調整力の量が必ずしも当該エリア内に存在していない状況。	第７回需給調整市場検討小委員会（資料2）
17	特定地域立地電源	特定の地域に立地していることが系統安定上重要である特定の機能（ブラックスタート機能・電圧調整機能・潮流調整機能・系統保安ポンプ機能）を有した電源。	第８回需給調整市場検討小委員会（資料3）
18	地域要求量（ＡＲ：Area Requirement）	エリアにおいて周波数偏差が生じた場合に、均衡状態へ戻すために必要な調整量。周波数偏差および連系線潮流偏差から算出する。	第２回 調整力等に関する委員会（資料３－１）
19	調整量(α)	インバランスネッティングおよび広域メリットオーダーの結果から得られた連系線の制御目標値と連系線計画潮流の差分。	第３回需給調整市場検討小委員会（資料５－２－２）

赤字：今回追記

<table>
<tr><th>NO.</th><th>用語</th><th>小委員会における整理</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>20</td><td>広域メリットオーダーリスト</td><td>広域メリットオーダーに基づき調整電源等ごとに調整可能量とkWh単価をリスト化したもの。</td><td>第２回需給調整市場検討小委員会
（資料５）</td></tr>
<tr><td>21</td><td>需給調整市場システム
（MMS）</td><td>「調達」の共通プラットフォーム。
需給調整市場から調整力のΔｋＷを調達するためのシステム。</td><td></td></tr>
<tr><td>22</td><td>広域需給調整システム
（KJC）</td><td>「運用」の共通プラットフォーム。
広域需給調整機能により広域的に需給調整するためのシステム。</td><td></td></tr>
<tr><td>23</td><td>インバランスネッティング
（※広域需給調整システムの機能）</td><td>エリア間でインバランス想定量の発生方向が逆の場合に、それらの量を相殺することで、調整力の発動量を減少させること</td><td>第１回需給調整市場検討小委員会
（資料５）</td></tr>
<tr><td>24</td><td>広域メリットオーダー
（※広域需給調整システムの機能）</td><td>各一般送配電事業者が調達した調整電源等（GC後における発電余力を含む）が発動した場合のコストが最も安価となるように、kWh単価に基づき安価なものから並べたときの順番。または、その順番に基づき調整力を発動すること。（インバランスの発生エリアとは関係なく、kWh単価に基づき決定）</td><td>第１回需給調整市場検討小委員会
（資料５）（一部修正）</td></tr>
<tr><td>25</td><td>広域需給調整機能
（※広域需給調整システムの機能）</td><td>広域需給調整システムに含まれる機能の一部。インバランスネッティングと広域メリットオーダーを行うための機能。</td><td>第２回需給調整市場検討小委員会
（資料５）</td></tr>
<tr><td>26</td><td>広域LFC機能
（※広域需給調整システムの機能）</td><td>広域需給調整システムに含まれる機能の一部。二次調整力①広域運用のための広域需給調整機能。</td><td>第10回需給調整市場検討小委員会
（資料４）</td></tr>
<tr><td>27</td><td>低速枠発動支援機能</td><td>需給調整市場でエリア外から調達した三次調整力②について、「調達先エリア」と「発動量」等の情報を中給システム間で送受信する連絡機能を担うとともに、連系線潮流計画値を変更するため広域機関システムと連携する機能。（なお本小委員会において、低速枠発動支援機能は広域需給調整システムにて対応できることが確認された。）</td><td>第２回需給調整市場検討小委員会
（資料５）
第10回需給調整市場検討小委員会
（資料５）</td></tr>
<tr><td>28</td><td>商品区分
一次調整力
二次調整力①
二次調整力②
三次調整力①
三次調整力②</td><td>2026年度以降の商品区分・要件について 49
■ 2026年以降の商品区分および要件は下表のとおり。
<table><tr><th></th><th>一次調整力</th><th>二次調整力①</th><th>二次調整力②</th><th>三次調整力①</th><th>三次調整力②</th></tr><tr><td>英呼称</td><td>Frequency Containment Reserve (FCR)</td><td>Synchronized Frequency Restoration Reserve (S-FRR)</td><td>Frequency Restoration Reserve (FRR)</td><td>Replacement Reserve (RR)</td><td>Replacement Reserve-for FIT (RR-FIT)</td></tr><tr><td>指令・制御</td><td>オフライン（自端制御）</td><td>オンライン（LFC信号）</td><td>オンライン(EDC信号)</td><td>オンライン(EDC信号)</td><td>オンライン</td></tr><tr><td>監視</td><td>オンライン
(一部オフラインも可※1)</td><td>オンライン</td><td>オンライン</td><td>オンライン</td><td>オンライン</td></tr><tr><td>回線</td><td>専用線のみ
(オフライン監視の場合は不要)</td><td>専用線のみ</td><td>専用線 または
簡易指令システム</td><td>専用線 または
簡易指令システム</td><td>専用線 または
簡易指令システム</td></tr><tr><td>入札時間単位</td><td>30分※4</td><td>30分※4</td><td>30分※4</td><td>30分※4</td><td>30分※5</td></tr><tr><td>応動時間</td><td>10秒以内※6</td><td>5分以内</td><td>5分以内</td><td>15分以内</td><td>60分以内※5</td></tr><tr><td>継続時間</td><td>5分以上※6</td><td>30分※4</td><td>30分※4</td><td>30分※4</td><td>30分※5</td></tr><tr><td>並列要否</td><td>必須</td><td>必須</td><td>任意</td><td>任意</td><td>任意</td></tr><tr><td>指令間隔</td><td>－（自端制御）</td><td>0.5～数十秒</td><td>専用線：数秒～数分
簡易指令システム：５分</td><td>専用線：数秒～数分
簡易指令システム：５分</td><td>30分</td></tr><tr><td>監視間隔</td><td>1～数秒※1</td><td>1～5秒程度</td><td>専用線：1～5秒程度
簡易指令システム：1分</td><td>専用線：1～5秒程度
簡易指令システム：1分</td><td>1～30分※7</td></tr><tr><td>供出可能量
(入札量上限)</td><td>10秒以内に出力変化可能な量
（機器性能上のGF幅を上限）</td><td>5分以内に出力変化可能な量
（機器性能上のLFC幅を上限）</td><td>5分以内に出力変化可能な量
（オンラインで調整可能な幅を上限）</td><td>15分以内に出力変化可能な量
（オンラインで調整可能な幅を上限）</td><td>60分以内※5に出力変化可能な量
（オンラインで調整可能な幅を上限）</td></tr><tr><td>最低入札量</td><td>1MW</td><td>1MW</td><td>1MW</td><td>1MW</td><td>1 MW</td></tr><tr><td>刻み幅
(入札単位)</td><td>1kW</td><td>1kW</td><td>1kW</td><td>1kW</td><td>1kW</td></tr><tr><td>上げ下げ区分</td><td>上げ／下げ※2</td><td>上げ／下げ※2</td><td>上げ／下げ※2</td><td>上げ／下げ※2</td><td>上げ／下げ※2</td></tr></table>※1 事後に数値データを提供する必要有り
※2 現行は上げ区分のみ調達
※4 入札時間単位「30分」継続時間「30分」に変更（2026年度より適用）
※5 入札時間単位「30分」応動時間「60分以内」、継続時間「30分」に変更（2025年度より適用）
※6 オフライン監視の場合、応動時間「30秒以内」、継続時間「設定なし」（2025年度より適用）
※7 30分を最大として、事業者が収集している周期と合わせることも許容
電力広域的運営推進機関</td><td>第63回需給調整市場検討小委員会
（資料４）</td></tr>
<tr><td>29</td><td>簡易指令システム</td><td>一般送配電事業者の中央給電指令所の需給制御システムと専用線オンラインで接続していない発電設備やアグリゲーターに対して需給バランス調整等の指令を行うシステム。かつて、一般送配電事業者は電源Ⅰ´等の調整力として保有する電源に対して、電話やメールで個別に指令を行っていたが、本システムにより、一括で調整指令ができ、指令授受の精度向上や時間短縮が可能となった。</td><td></td></tr>
<tr><td>30</td><td>専用線</td><td>周波数制御または需給バランス調整を行うため、一般送配電事業者の中央給電指令所システムと属地エリアの電源等を接続する通信伝送ルート。</td><td></td></tr>
<tr><td>31</td><td>応動時間</td><td>一般送配電事業者が指令を発信してから供出可能量まで出力変化するのに要する時間。</td><td>第17回需給調整市場検討小委員会
（資料２－１）</td></tr>
<tr><td>32</td><td>継続時間</td><td>最大値または指令値を継続して出力し続けることが可能な時間。</td><td>第14回制度検討作業部会（資料３）
第３回需給調整市場検討小委員会
（資料５－２－２）</td></tr>
<tr><td>33</td><td>商品ブロック時間</td><td>1コマ30分を最小単位として、商品を複数コマまとめて取扱う場合における時間数、またはその集まり。</td><td></td></tr>
</table>

赤字：今回追記

NO.	用語	小委員会における整理	備考
34	オンライン	専用線や簡易指令システムを用いてリアルタイムに指令・制御・監視を行う方法。	
35	オフライン	専用線や簡易指令システムといったオンラインによるシステムを用いずに、指令・制御・監視を行う方法。なお、オフラインによる出力実績の管理を行う場合は、調整力提供者から周波数および出力値などのデータを後日提出することが前提となる。	
36	取引規程	需給調整市場における取引全般に係るルール、各種要件（資格要件等）およびアセスメント、ペナルティ等を記載した規程のこと。	第８回需給調整市場検討小委員会（資料５）
37	容量確保契約	容量市場で、実需給期間における供給力提供の具体的な方法（リクワイアメント）等を踏まえて落札された結果を内容とする取り決めについて、広域機関と落札した電源等の事業者との間で締結する契約のこと。	第10回需給調整市場検討小委員会（資料２）
38	需給調整市場に関する契約	需給調整市場への参入にあたって、買い手である一般送配電事業者および調整力提供者の間で締結する契約。	第８回需給調整市場検討小委員会（資料５）
39	余力活用に関する契約	調整機能（需給調整市場における商品の要件を満たす機能）を有する電源（調整電源）に対し、GC後の余力を活用するために調整力提供者と属地エリアの一般送配電事業の間で締結する契約。	第８回需給調整市場検討小委員会（資料５）
40	調整電源	調整機能（需給調整市場における商品の要件を満たす機能）を有する電源で、一般送配電事業者と調整に関する契約を締結した電源	第８回需給調整市場検討小委員会（資料５）
41	属地TSO	調整力を供出する事業者が保有する電源等が立地するエリアの一般送配電事業者のこと。	第８回需給調整市場検討小委員会（資料５）
42	調整力提供者	発電事業者・アグリゲーター等の調整力を供出する事業者。	第８回需給調整市場検討小委員会（資料５）
43	アグリゲーター	需要家エネルギーリソース（DSR）や分散型エネルギーリソース（DER）を統合制御しDR、VPPの機能を提供する事業者。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン
44	事前審査	調整力提供者が市場への参加にあたり、応札するリソースがリクワイアメント（商品の要件を満たした上で指令に応じる義務）を果たせるかどうかを一般送配電事業者が事前に確認すること。	第９回需給調整市場検討小委員会（資料３）
45	需要家リスト	リソースをアグリゲートして需給調整市場に参入する場合に提出を求められるアグリゲートされた個々のリソースに関する詳細情報。	第９回需給調整市場検討小委員会（資料4）
46	リスト・パターン	応札および発動の際に需要家リストから選択することとなるリソースの組み合わせに関する情報	第９回需給調整市場検討小委員会（資料4）
47	基準（※アセスメントⅡにおいて使用する場合）	アセスメントⅡにおいて、調整力の出力変化量を確認するために用いる値。実出力値（需要実績値）と基準の差分により出力変化量を求める。電源であれば発電計画値、需要家エネルギーリソース（DSR）であれば基準値が該当する。	
48	基準値	発電計画値を持たない需要家エネルギーリソース（DSR）が、調整力を供出しなかった場合に想定される需要値（なかりせば需要）。	第16回需給調整市場検討小委員会（資料３）
49	供給力型/調整力型	調整力の類型。供給力型ではあらかじめ策定した発電計画通りの出力が求められるのに対し、調整力型では一般送配電事業者からの指令に追従して出力を随時変化させることが求められる。	第10回需給調整市場検討小委員会（資料３）
50	中間点	一般送配電事業者からの指令値に対して、応動時間の途中において実出力（DSRの場合は需要量）がどの程度応動しているかを確認する点。高速な出力変化による周波数変動への影響を低減させるために、調整力を連続的に変化させることを目的とした応動に係る規律の一つ。	第14回需給調整市場検討小委員会（資料３）
51	アセスメントⅠ	GC時点における発電上限値および発電計画値の差が約定したΔkW以上となっていること（DSRの場合はΔkW落札量が供出可能量の内数にあること）を確認し、評価すること。	第９回需給調整市場検討小委員会（資料３）
52	アセスメントⅡ	一般送配電事業者からの指令に対して、応動実績が商品の要件を満たしていたかどうか確認し、評価すること。	第９回需給調整市場検討小委員会（資料３）
53	許容範囲（※アセスメントⅡにおいて使用する場合）	アセスメントⅡにおいて、一般送配電事業者からの指令に対し、応動実績が乖離することが許容される範囲。	
54	滞在率（※アセスメントⅡにおいて使用する場合）	アセスメントⅡにおいて、許容範囲内に応動実績が滞在している率。	第16回需給調整市場検討小委員会（資料３）

赤字：今回追記

NO.	用語	小委員会における整理	備考
55	上げ調整単価（V1）	一般送配電事業者が契約設備等に対して、出力増指令したことにより増加した電力量に乗じて支払う1kWhあたりの単価。　（単位：円/kWh）	調整力募集要綱
56	下げ調整単価（V2）	一般送配電事業者が契約設備等に対して、出力減指令したことにより減少した電力量に乗じて受け取る1kWhあたりの単価。　（単位：円/kWh）	調整力募集要綱
57	VPP (Virtual Power Plant)	バーチャルパワープラント。 分散型エネルギーリソース（DER）の保有者もしくは第三者が、分散型エネルギーリソース（DER）を制御（DSRからの逆潮も含む）することで発電所と同等の機能を提供する技術。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン
58	DR (Demand Response)	ディマンドリスポンス。 需要家エネルギーリソース（DSR）を制御することで、電力需要パターンを変化させること。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン
59	DER (Distributed Energy Resources)	分散型エネルギーリソース。 需要家エネルギーリソース（DSR）に加えて、系統に直接接続される発電設備、蓄電設備を総称するもの。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン
60	DSR (Demand Side Resources)	需要家エネルギーリソース。 需要家の受電点以下（behind the meter）に接続されているエネルギーリソース（発電設備、蓄電設備、需要設備）を総称するもの。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン
61	受電点計測	系統と需要家の接続点である受電点において、ΔkW評価または調整力の発動によって生じたkWhの精算を行うために計測を行うこと。	第17回需給調整市場検討小委員会（資料3）
62	機器個別計測	系統と需要家の接続点である受電点ではなく、需要家内に設置された制御対象のリソースの出力若しくは消費電力を直接計測できる計測点において、ΔkW評価または調整力の発動によって生じたkWhの精算を行うために計測を行うこと。	第17回需給調整市場検討小委員会（資料3）
63	ポジアグリ	発電設備、および需要家の逆潮流をアグリゲートすること。	第17回需給調整市場検討小委員会（資料3）
64	低圧アグリ	低圧の一般家庭等における家庭用蓄電池、EV、空調、照明等、数kW以下の非常に小規模なリソースを、大規模に数万以上アグリゲートすること。	第17回需給調整市場検討小委員会（資料3）
65	周波数変換装置（FC） （Frequency Changer）	交流50Hz（東日本）と交流60Hz（西日本）の 電力の周波数変換を行っている装置。	第95回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会（資料３）
66	EPPS (Emergency Power Presetting Switch)	周波数変換装置（FC）により連系されている一方のエリアにおいて，系統故障等により電源が脱落し周波数があらかじめ設定した値を下回った場合，もう一方のエリアの周波数が健全であることを条件に，あらかじめ設定した電力を瞬時に送電する機能。	2017年度第3回運用容量検討会（資料１－２）、2017年度第6回運用容量検討会（資料２）
67	市場外調達	週間商品の調達量が必要量に達しなかった場合に、市場外でエリア内およびエリア外の電源からΔkW未達分を追加的に調達する行為。相対契約前提の調達方法となっている。なお、前日商品の未達時は、追加起動の指令時間等を考慮し、市場外調達は行わないこととしている。	第８回需給調整市場検討小委員会（資料２） 第４１回需給調整市場検討小委員会（資料２）
68	複合市場	一次調整力～三次調整力①・複合商品を取り扱う市場の総称。2025年度までは週間市場と称されていたが、2026年度から前日取引化される事に伴い、本略称を用いる。	第51回需給調整市場検討小委員会（資料３）
69	信頼度階級予測	過去の再エネ予測誤差実績を基に事前作成した２種類の必要量テーブルを、翌日の日射量と信頼度階級（信頼度高/信頼度低）に応じて使い分ける手法であり、信頼度が高い日は下振れの予測誤差が相対的に小さくなる点に着目した取り組み。	第30回需給調整市場検討小委員会（資料２）
70	信頼区間幅予測	NEDO事業において、2021年度から2024年度に検討が進められてきた気象予測精度向上に係る技術開発の１つであり、日射量の下振れ予測から太陽光発電の下振れリスク量を算定する手法。信頼度階級予測よりも予測精度控除の恩恵を享受しやすくなることが期待されている。	第58回需給調整市場検討小委員会（資料２）
71	効率的な調達 （複合商品他）	複合商品（+二次調整力②・三次調整力①）に関して、週間断面の調達量を1σ相当とし、翌々日計画での広域予備率が閾値未満の場合には3σ相当まで追加確保を行う取り組み。 2026年度の前日取引化以降は、前日断面での必要量そのものを判断する取り組みとなる。	第35回需給調整市場検討小委員会（資料３） 第58回需給調整市場検討小委員会（資料４）
72	効率的な調達 （三次調整力②）	三次調整力②に関して、前日断面の調達量を1σ相当とし、その後、前日15時断面での再エネ予測量が一定程度下振れした場合、余力活用にて3σ相当まで追加調達を行う方法	第48回需給調整市場検討小委員会（資料２）
73	次世代スマメ	次世代スマートメーターの略。IoTルートを活用するための通信機能が拡充されており、この機能により一般送配電事業者が機器点の計量値を取得することが可能となる。	第57回需給調整市場検討小委員会（資料３）

赤字：今回追記

NO.	用語	小委員会における整理	備考
74	代替不可申請	需給調整市場に約定した単独発電機または各リスト・パターンがΔkW約定量を供出できなくなり、かつ代替する単独発電機（複数も可）または各リスト・パターンの再登録ができない場合、取引会員が提供機関の開始時刻の１時間前までにMMSに代替不可の内容を登録すること。	
75	追加起動余力	調整力提供者の発電計画上で停止している電源において、需給バランスの状況や、時間帯によって調整力が不足すると想定される断面で、一般送配電事業者が余力活用契約に基づいて行った追加起動により確保可能な余力のこと。	第49回需給調整市場検討小委員会（資料３）
76	自然体余力	調整力提供者の発電計画上で起動している電源の発電出力上限と計画値の差分のうち、需給調整市場で約定した調整力を差し引いそた後に残る、自然に生じている余力のこと。	第49回需給調整市場検討小委員会（資料３）